

2025. 2. 20

「だれも殺すな」「対話を」



宗教者ネットが訴え東京

ミャンマー軍政、パレス

チナ自治区ガザへの軍事侵攻に抗議し、すべての命を守りたいと19日、宗教者らが東京・渋谷ハチ公前で祈念行動をしました。若者や海外からの観光者でにぎわうなか、「憲法9条を守ろう」「だれも殺すな」「すべての戦争に反対し、対話による平和外交を」と声を上げました。

「平和をつくり出す宗教者ネット」など4団体が呼びかけました。

日本キリスト教協議会総幹事の金性済（キム・ソンジエ）さんは、マイクを持ち、トランプ米大統領が主

張する「ガザ所有」発言にふれ「虐殺のすえ、残りの人々をすべて追放し、裕福な人のリゾート地にする」という。荒唐無稽な暴言だ」と批判しました。

インドネシアから日本に留学中という女性（20）は「ガザのジェノサイドは終わっていない。世界で戦争が広がっている。悲しい」と行動を見つめます。一緒にいた友人の女性（20）は「ジェノサイド反対の声はインドネシアでも大きく広がっています。日本に来て初めて声を上げる人たちを見ました。すごいこと。感動しました」と話しました。